

これからの事業

公民館事業を通して学び、つどい、交流しあい、より充実した日常生活を送りませんか。

白梅分館託児保育付講座

「親子二世代で円満に子育てを解決！
〜世代間ギャップを乗り越えた先に〜」

おじいちゃん・おばあちゃん世代との「子育てギャップ」について時代とともに変化していく子育ての常識や流行を追いながら、皆で話し考えてみませんか？

【日時】10月31日(木)〜12月5日(木) 午前10時〜正午(全6回)

【場所】白梅分館集会室

【講師】戸塚芳子氏(教育専門ライター)

【定員】20人※託児保育希望者15人を優先

【対象】市内在住・在勤の方

【申込み】10月17日(木)までに白梅分館☎042・553・3454まで。

★公民館保育室について

講座参加者の保護する幼児を公民館保育者が預かります。(おやつ代250円を講座の初回に集めます。)

【対象】市内在住の1歳以上で就学前の幼児(0歳児は定員に満たない場合、参加幼児の年齢構成等考慮し受付)。※定員は15人

公民館平和事業実施報告

終戦から74年、時代が移り変わっても戦争の悲惨さを忘れずに伝え、平和について、また命の大切さについて考える機会を設けるために、公民館3館で夏に実施している事業です。

本館

「被害と加害が折り重なる戦争の記憶」

8月17日(土)実施

公民館サークル「朗読サークルわかば」の二人と大学生による、『若者から若者への手紙 1945←2015』(出版：ころから)の一部証言と手紙の朗読に始まり、講師にお招きした『ルポ土地の記憶―戦争の傷痕は語り続ける』(社会評論社)の著者でルポライターの室田元美氏から、取材記録を交えた戦争の被害者と加害者双方の視点による講話を聴き、平和を考える上での新たな気づきとなりました。

その後、参加者は3つのグループを作り、感じたことなど活発な意見交換を行いました。



「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」パネル展

8月16日(金)〜9月1日(日)展示

戦争の恐ろしさを伝え感じていただくため、市民活動団体の方から写真パネルを借用して実施しました。当時を知る方だけでなく、実際に戦争を知らない世代の方まで多くの方に立ち寄っていただき、戦争の悲惨さ、平和について考えるきっかけに繋げることができました。

～ 来場者の声 ～

- ・戦争の映画などがテレビで放映されていますが、現実に戦争の体験の無い者は、映像や本のみで理解しているつもりになっています。このパネルを見て、改めて戦争の悲惨さを思い知らされました。多くの方々に、このパネル展を見てほしいと思います。
- ・被害にあった人が書いた文章や死体の写真が生々しかった。当時の事を知らないけれど、悲惨さが伝わった。
- ・毎年、写真を見るたび心が痛みます。これからもこのパネル展を続けてください。

★本事業は市民活動団体「ドイツ平和村をサポートする会」と共催で実施しました。

白梅分館

白梅平和映画会

「ガラスのうさぎ 東京大空襲」

8月9日(金)実施

昔ながらの16ミリ映写機を使って、平和について考える映画を鑑賞しました。

高木敏子氏の著作『ガラスのうさぎ』が原作で、著者の体験した太平洋戦争とその後の過酷な生活をリアルにつづった作品です。

戦争を体験した方や小学校の児童が参加して、戦争について幅広い意見が共有されました。

～ 参加者の声 ～

- ・両親に聞けなかった戦争体験を映画によって学べる機会はとても貴重でした。
- ・戦争のシーンがとても恐ろしかった。また、生きる事がこんなにも辛い時代があったことを知ることができた。

松林分館

令和に繋ぐ平和講演会

～むかし絵でたどる福生の記憶～

8月15日(木)実施

福生市在住の窪田成司氏をお招きし、戦中から戦後の体験を伺いました。また「むかし絵(福生の情景を描いた記憶画)」を見ながら、当時の記憶を交えて語っていただきました。

～ 参加者の声 ～

今回の講演会で、改めて平和の大切さを考えることができました。私は戦争当時10歳でしたが、自分の体験と窪田氏のお話を重ね合わせながら聞いていました。窪田氏は当時14歳前後だったと伺いましたので、学生の頃から気象部で通信について学ばれていたのはすごいと思いました。むかし絵についても当時を鮮明に記憶されていてすごいと思いました。むかし絵を見つつ、半地下の兵舎の様子や多摩川沿いのお話を伺いながら、昔を思い出し、また新たな発見もありました。

このような講演会を通じて平和について考え、福生の情景について語り継いでいくことは、非常に大切な機会であると思いました。



寿生きがいひろばのお知らせ

「寿生きがいひろば」は、おおむね60歳以上の方の学び、生きがいづくり、仲間づくりを目的とした交流の場です。本館、松林分館、白梅分館でさまざまな活動を行っています。

3館合同の活動成果は、12月6日(金)の「人生うたい語りのつどい」で発表します。

本館

「童謡・唱歌」

今年も小田切先生のご指導で楽しく練習しています。「人生うたい語りのつどい」で練習の成果を発表します。

「幸せお手玉と巾着袋を作ろう」

四枚の布を縫い合わせて作ることで幸せ(四合わせ)を呼ぶといわれるお手玉と巾着袋を作ります。

11月7日(木)からスタート♪

10月18日(金)から受付開始

※詳細は本館へ

白梅分館

「エッセイ入門教室」

エッセイの書き方を学んでいます。少しずつ先生からの課題も難しくなってきましたが「人生うたい語りのつどい」での舞台朗読に向けて特訓しています。

松林分館

「江戸芸かっぱれ踊り」

かっぱれは江戸の伝統文化で、楽しく、見て美しい粋な踊りです。歳を重ねても続けられるのが魅力です。

足腰を使い、健康的に楽しんでいます！

「しかけ絵本づくり講座」

11月1日(金)から始まります！

相手に喜ばれる素敵な絵本の制作にチャレンジ！「人生うたい語りのつどい」に展示します。

10月4日(金)から受付開始

※詳細は松林分館へ

「人生うたい語りのつどい」

12月6日(金) 午後1時30分から
市民会館小ホール(つつじホール)で
開催します。ぜひご来場ください。